

# 三島駅南口の整備を考える・検討委員会

平成28年1月22日(金)第4回検討委員会 意見のまとめ

 NPO法人グラウンドワーク三島

## 全体に共通の認識・コンセプト

- ・「三島らしさ」を表現する
- ・ 駅から街・郊外への人の流れをつくる
- ・ 歴史ある平面的景観の保全
- ・ 地下水脈の保護
- ・ 「玄関口」としての立地を活かす
- ・ 整備のための資金やランニングコスト、収益性は？

## 現状を最大限活かす

- ・ 積極的「何もしない」  
⇒有事の際も活用できるフレキシブルなオープンスペースとして空き地を温存する

凡例



=コアとなるコンセプトや具体的提案



=コンセプト同士を結ぶ具体的提案

## 公園・ビオトープ

- ・ 三島の自然(楽寿園、源兵衛川、富士山、湧水、ジオパーク…)を凝縮したミニミュージアム的ビオトープ  
⇒見れば楽寿園や源兵衛川などの現場を訪れたいくなる  
⇒富士山・箱根・伊豆を眺望できる

- ・ 緑の駐車場  
⇒駅を降りて見える所をビオトープ、奥に駐車場を  
⇒低層の立体駐車場の屋上を緑地に

- ・ 随時、マルシェやイベントを開催できる広場  
⇒特産品の青空市  
⇒ウォーキング・サイクリングイベントの開催拠点  
⇒広場に店舗を並べない、あえて分散させて配置

## 商業施設

- ・ 地域の特産品の販売拠点  
⇒うなぎ、箱根西麓野菜、三島コロッケ…  
⇒地産地消や6次化の拠点に  
⇒姉妹都市からの出店
- ・ 富士山眺望のカフェ・レストラン

- ・ 既存商店街との共存  
⇒既存商店街を3階建てにして、1階を店舗、2～3階を市役所などにすれば駅と商店街との高低差を埋められる

- ・ 北口の利用者や団体観光客を対象にした飲食店

## 健康・福祉・教育の増進

- ・ 総合病院
- ・ 介護施設
- ・ 総合健康施設  
⇒温泉、エステ、ジム…
- ・ 国際交流施設・語学塾
- ・ 学生のための交流施設
- ・ 三島の歴史・文化・自然をテーマにした学習施設  
⇒科学館・水族館・博物館・美術館、「水の大学」…

- ・ ベッドタウンとしての機能を補足する施設  
⇒新幹線を利用する子育て世代のビジネスマンや観光客向けの託児所、行政窓口

## ハブ機能の強化

- ・ 富士山・箱根・伊豆への窓口としてのビジターセンター
- ・ インバウンド向けの観光案内所

## 公共的施設

- ・ 市役所の総合庁舎を移転  
⇒街中でもワンストップの行政サービスを受けられる  
⇒現在の総合庁舎を駐車場に  
⇒近隣市町との合同庁舎に

## 交通の利便性の強化

- ・ 観光客のための大型バス駐車場  
⇒駅のロータリーの拡充
- ・ 駅と郊外をつなぐ新たな交通拠点  
⇒レンタルサイクル、ペロタクシー、高級リムジン、レトロバス…
- ・ 駅の東西南北をつなぐ連絡通路